

核被害者とともに —広島の実験に学び、世界の核被害者とつながる—

これまで広島共立病院で被爆者医療に関わられ、原爆症認定や黒い雨訴訟の支援、韓国やブラジルをはじめとする在外被爆者の支援なども行ってこられた青木克明先生に、自身の医療現場での経験をとおして被爆者の実情についてお話いただきます。

さらに太平洋核実験に伴う高知の被災船乗組員の問題を取材されてきた地元の若手ジャーナリストの笹島康仁さんにもお話をいただきます。笹島さんは核兵器禁止条約締約国会議に参加され、太平洋の核被害者やその支援者の声を集めて来られました。今後広島が高知や太平洋の核被害者とどうつながっていくのか、共に考えていく機会としたいと考えています。

日時: 2022年 **9**月**3**日(土) **14:30~17:30**

開催形式: Zoomによるオンライン

参加費: 無料

要事前申込

<https://forms.gle/vRfV19ZVC3Lvk4Zq8>

↑ 申込フォームあるいは、メールまたはFAXからお申込みください。
(お名前・連絡先を明記ください。)

メール: ant@ant-hiroshima.org FAX: (082)502-6305

締め切り日: 2022年8月28日(日)

* 定員になり次第、締め切らせていただきます。



<スケジュール>

14:30 はじめに

14:35 第1部

青木克明氏「核被害者とともに—広島の実験現場から—」

16:15 第2部

笹島康仁氏「太平洋の核被害者とつながって—第1回締約国会議レポート—」

17:30 終わりに

主催: 特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima/竹峰誠一郎

お問い合わせ: 特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima(渡部)

メール ant@ant-hiroshima.org

電話 082-502-6304

FAX 082-502-6305

<講師プロフィール>



青木克明氏

1948年広島市生まれ 母が被爆者

1974年横浜市大医学部卒業 神奈川、長野の病院に外科医として勤務ののち1990年より広島医療生協
広島共立病院に勤務 在外被爆者、原爆症訴訟、福島原発事故被害者支援にとりくむ

2019年東京に移住し 立川相互ふれあいクリニック勤務

反核医師の会常任世話人 日本被団協被爆二世委員 東友会(東京の被爆者団体)理事

東京被爆二世の会副会長 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会顧問



笹島康仁氏

ジャーナリスト、フォトグラファー。1990年千葉県生まれ。高知新聞社の社会部記者、宿毛支局長などを経て、
2017年に独立。地域と教育を主なテーマに幅広い分野で取材、執筆を行っている。2012年に太平洋での
船員被ばくの問題と出会って以来、現在も取材を続けている。

笹島さんの記事 <https://news.yahoo.co.jp/feature/1231/>